

構想概要

山形県の課題（イノベーションが起こりにくい構造）を山形大学の社会実装力で解決する

山形大学の強みである有機材料システムを核とする本学の社会実装力を結集し、地域との共創を通じて、山形県における高付加価値な新事業・新ビジネス創出の基盤となるイノベーションエコシステムを形成する。本事業を通じて、地域の課題解決に貢献するとともに、地域中核大学としての機能の更なる充実を図ることにより、本学の経営基盤を強化する。

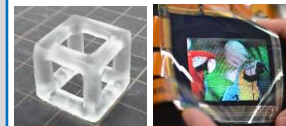
山形県の課題 | イノベーションが起こりにくい構造

労働生産性 <small>低</small> 県平均3,796千円 (全国5,499千円)	平均所得 <small>低</small> 県平均289.8万円 (全国461.0万円)
創業比率 <small>低</small> 県平均3.63% (全国5.04%)	生産年齢人口流出 <small>全国1位</small> 社会減少率0.32%

下請け構造から脱却するための
新事業・新ビジネス創出
 の基盤となる
イノベーションエコシステム
 の形成が必要

本学の社会実装力 | 強み“有機材料システム”を核に

有機材料システム



産学融合拠点創出事業 Jイノベ | 経済産業省

国際的研究拠点
 - 基礎研究力
 - 研究施設・装置
 - 企業との共同研究
 - ベンチャー創出
 - 高度専門人材育成

ものづくり

食農
 アグリフードシステム
 先端研究センター
 食と農の 高付加価値化
 鶴岡バイオコミュニティ | 内閣府

人材
 アンレプレナーシップ
 教育研究センター
 一気通貫の人材育成
 仙台スタートアップ・エコシステム | 内閣府

具体的な取組み | 本学の社会実装力を結集し新事業・新ビジネス創出の基盤となるイノベーションエコシステムの形成

(1) 地域の社会課題の発掘と解決策の方向性の提示

- ①やまがた社会共創プラットフォームを活用したニーズオリエンテッド産学官金医連携
- ②県内における企業支援等関係機関との連携



(2) 地域の社会課題解決に資するイノベーションのシーズ創出

- ①先進的研究拠点(YU-COE)におけるイノベーションのシーズ創出
- ②山形大学異分野交流学会・セミナーによる地域の社会課題の共有



社会実装力

地域課題解決

経営基盤強化

- ①知的財産（研究成果を含む）を活用した技術移転機能の強化
- ②大学発ベンチャー企業による新ビジネスの創出



- ①ソーシャルイノベーション人材の創出
- ②DX基盤強化推進リーダー育成



(3) イノベーション・シーズの地域産業界への技術移転の促進

(4) 地域発のスタートアップの創出と育成